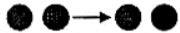


光電センサーの設置と装置との接続確認

- ① 光電センサーと反射板をそれぞれ三脚にセットしてください。(写真1)
- ② 三脚にセットした光電センサーと反射板をフィニッシュラインの両端に設置してください。
スタートラインの場合はスタートラインの先50cmに設置してください。(誘導員が遮らない位置)
道をはさんで、計測装置を設置する側に光電センサーを置いてください
競技車両に倒されたり、大きな石などが飛んでこないことを考慮してください。
- ③ 三脚下部を固定し、動かないようにしてください。
- ④ 光電センサーにバッテリーを接続してください。
センサー上面のグリーンとオレンジのランプが点灯します。

- ⑤ 光電センサー、反射板の角度と高さを調整し、オレンジのランプが消灯する位置をさがして固定してください。
三脚にネジが4カ所あります。すべてしっかり締め付けてください。(写真2)

- ⑥ 光電センサーの前を手で遮り、オレンジのランプが点灯することを確認してください。

- ⑦ 計測装置に電源(バッテリー、ACアダプタ)を接続してください。
時計が動き出しますがこの時点で時刻あわせをする必要はありません。
PCを接続し使用する場合、この時点ではまだPCを接続しないでください。
- ⑧ 計測装置と光電センサーをケーブルで接続してください。
装置『Main』側コネクタにケーブルを接続してください。
ケーブルは競技車両などに踏まれたり、引っ掛けられたりしないよう取り回してください。
- ⑨ 光電センサーの前を手で遮り、計測装置がそれを検出することを確認してください。(検出音と表示)
検出できない場合は、コネクタ接続、光電センサーがずれていないか確認してください。
1度だけでなく何度かテストしてください。
検出ごとに適当なカーナンバーを入力しデータを確定させてください。(操作説明書参照)
- ⑩ フィニッシュラインの場合は、装置に計測ボタンを接続してください。
装置『Sub』側コネクタにケーブルを接続してください。
計測ボタンを押し、装置がそれを検出することを確認してください。(検出音と表示)
検出ごとに適当なカーナンバーを入力しデータを確定させてください。(操作説明書参照)
- ⑪ 一旦装置の電源を切るか、データを消去してください。
- ⑫ 装置の時刻を合わせてください。(操作説明書参照)
PCを接続する場合は、この時点で接続してください。

※1 光電センサーが故障している場合は、計測ボタンを『Main』コネクタに接続し計測を行ってください。
※2 光電センサーが途中で故障した場合は、『Main』コネクタからケーブルを切り離し計測ボタンのみで計測を行ってください。

写真1



光電センサー(反射板)の取り付け取り外し

写真2



4カ所のネジ

2006年JAF全日本ラリー選手権 MSCC東京ラリー2006

STAFF ROADBOOK

目次

● 各部署までの移動コマ図(やみぞー茗荷(TC1,5))		2
● 各部署までの移動コマ図(やみぞー八溝(SS1,5Stop))		3
● 各部署までの移動コマ図(やみぞー大森(TC2,6~Stop))		4
● 各部署までの移動コマ図(ルネサンス棚倉→戸中(TC3))		7
● 各部署までの移動コマ図(ルネサンス棚倉→旗宿(SS3Stop))		9
● Leg.1各SSから宿泊地までの移動(茗荷(TC1,5)→喜楽亭)		12
● Leg.1各SSから宿泊地までの移動(八溝(SS1,5Stop)→喜楽亭)		15
● Leg.1各SSから宿泊地までの移動(戸中(TC2,6~SSStop)→ほっとはうす)		19
● Leg.1各SSから宿泊地までの移動(戸中(TC3,7)→入道温泉)		23
● Leg.1各SSから宿泊地までの移動(旗宿(SS3,7Stop)→入道温泉)		27
● 各部署までの移動コマ図(入道温泉→三株牧野)		32
● 各部署までの移動コマ図(喜楽亭→室・大平草)		33
● 各部署までの移動コマ図(ほっとはうす→東野牧野(TC11~SS11Stop))		34
● ルネサンス棚倉への移動(三株牧野→)		36
● ルネサンス棚倉への移動(室・大平草→)		39
● ルネサンス棚倉への移動(東野牧野(TC14)→)		42
● ルネサンス棚倉への移動(東野牧野(SS11,14Stop)→)		44
● ルネサンス棚倉への移動(鹿角平牧場→)		46
● ルネサンス棚倉→ほっとはうす		48
● ルネサンス棚倉への移動(茗荷(TC2,5)→)		50